

平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成 20 年 7 月 30 日

上場会社名 サン電子株式会社

上場取引所 JASDAQ

コード番号 6736

URL <http://www.sun-denshi.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）吉田 喜春

問合せ先責任者（役職名）取締役経理部長（氏名）加藤 俊朗 TEL (0587) 55 - 2201

四半期報告書提出予定日 平成 20 年 8 月 12 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 1 四半期	2,107	△8.2	△269	—	△222	—	△97	—
20 年 3 月期第 1 四半期	2,294	△36.2	86	△82.9	135	△73.6	116	△61.1

	1 株 当 たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株 当 たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 3 月期第 1 四半期	△9	23	—	—
20 年 3 月期第 1 四半期	10	77	10	70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
21 年 3 月期第 1 四半期	12,871	8,953	69.6	848	47
20 年 3 月期	14,627	9,187	62.8	870	61

(参考)自己資本 21 年 3 月期第 1 四半期 8,953 百万円 20 年 3 月期 9,186 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 3 月期	—	—	—	15 00	15 00
21 年 3 月期	—	—	—	—	—
21 年 3 月期(予想)	—	—	—	15 00	15 00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	5,000	(16.8)	△200	(—)	△150	(—)	△150	(—)	△13	84
通 期	13,000	(9.5)	500	(△14.4)	600	(△0.8)	360	(△21.1)	33	21

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 0社(社名) 除外 1社(社名 株式会社サンコミュニケーションズ)
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
 ② ①以外の変更 : 無
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第1四半期 | 10,840,400株 | 20年3月期 | 10,840,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第1四半期 | 288,100株 | 20年3月期 | 288,100株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 10,552,300株 | 20年3月期第1四半期 | 10,840,400株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- (2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第1四半期の全社業績

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や、原油価格の高騰等による原材料・小売価格の上昇懸念から設備投資や個人消費が伸び悩むなど、景気の減速感が強まりました。

このような状況のなか、当社グループの主要な事業でありますパチンコ関連事業において、洞爺湖サミットの開催に伴い、全国のパチンコホールにおいて遊技機の入替自粛が実施されたこと等の影響により、当第1四半期連結会計期間の業績は、低調に推移しました。

この結果、売上高21億7百万円（前年同期比8.2%減）、営業損失2億69百万円（前年同期は86百万円の営業利益）、経常損失2億22百万円（前年同期は1億35百万円の経常利益）、四半期純損失は97百万円（前年同期は1億16百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 当第1四半期の事業別業績

<パチンコ関連事業>

洞爺湖サミットの開催に伴い、全国のパチンコホールにおいて遊技機の入替自粛が実施されたこと等の影響により、パチンコ制御基板及びパチンコホール内情報化システムの販売が、低調に推移しました。

この結果、売上高は9億95百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

<情報・通信関連事業>

デジタル機器につきましては、携帯型AM/FMラジオ録音機「トークマスター」シリーズの販売が、物価上昇懸念を背景にした個人消費の減速等により低調に推移しましたものの、モバイルデータ転送機器につきましては、平成19年7月に取得しましたCellebrite Mobile Synchronization Ltd.（イスラエル国；100%子会社）の業績が順調に推移しました。

この結果、売上高は9億84百万円（前年同期比101.6%増）となりました。

<樹脂成形事業>

パチンコ遊技機の樹脂成形加工品の販売が低調に推移しましたため、売上高は減少しました。

この結果、売上高は1億17百万円（前年同期比71.2%減）となりました。

<その他の事業>

主要な製品は、金型及び家庭用ゲーム機対応のパッケージゲームソフトであります。

金型の販売が低調に推移しましたため、売上高は減少しました。

この結果、売上高は10百万円（前年同期比66.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17億55百万円減少し128億71百万円となりました。これは主に、売上債権が20億49百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億22百万円減少し39億18百万円となりました。これは主に、仕入債務が11億57百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円減少し89億53百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億55百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は、ほぼ計画通りであり、第2四半期の業績も、ほぼ計画通りに推移する見通しでありますことから、平成20年5月16日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループの主要な事業でありますパチンコ関連事業は、需要変動が比較的大きな分野に属しており、四半期毎の業績は大幅に変動する傾向があります。パチンコホール内情報化システムにおきましては、例年、需要期が第3四半期でありますことから、上期は販売費・開発費が先行いたします。パチンコ制御基板におきましても、パチンコ遊技機の新機種発売は遊技機メーカーの他社動向、新機種の申請状況等に左右されますことから、四半期毎の業績は大きく変動する傾向を有しております。

また、新規事業・新製品・新サービスに対する研究開発投資も積極的に推進しておりますことから、業績予想は変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外：株式会社サンコミュニケーションズ

当社グループ全体の経営資源の集中と競争力向上を図ることを目的として、平成20年4月1日をもって当社を存続会社とする吸収合併を行い、株式会社サンコミュニケーションズは消滅しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が13百万円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)		前連結会計年度に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	1,920,958		1,654,448	
2 受取手形及び売掛金	1,827,116		3,876,191	
3 有価証券	13,979		50,519	
4 製品	857,695		658,490	
5 原材料	359,664		378,074	
6 仕掛品	112,677		188,936	
7 繰延税金資産	173,590		202,616	
8 その他	313,297		279,172	
貸倒引当金	△28,330		△39,556	
流動資産合計	5,550,647	43.1	7,248,894	49.6
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 土地	1,295,554		1,295,554	
(2) その他	919,927		942,584	
有形固定資産合計	2,215,481	17.2	2,238,138	15.3
2 無形固定資産				
(1) のれん	2,077,085		2,196,904	
(2) その他	57,187		60,581	
無形固定資産合計	2,134,272	16.6	2,257,485	15.4
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	2,067,431		2,072,794	
(2) その他	1,039,495		945,658	
貸倒引当金	△135,535		△135,535	
投資その他の資産合計	2,971,391	23.1	2,882,917	19.7
固定資産合計	7,321,145	56.9	7,378,541	50.4
資産合計	12,871,793	100.0	14,627,435	100.0

サン電子株(6736)平成21年3月期 第1四半期決算短信

区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)		前連結会計年度に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	1,018,786		2,176,506	
2 短期借入金	1,330,000		1,330,000	
3 1年内返済予定長期借入金	36,996		36,996	
4 未払法人税等	39,092		151,472	
5 賞与引当金	121,539		225,974	
6 役員賞与引当金	1,388		18,245	
7 製品保証引当金	23,344		37,098	
8 その他	779,681		890,365	
流動負債合計	3,350,827	26.0	4,866,660	33.3
II 固定負債				
1 長期借入金	159,257		168,506	
2 繰延税金負債	245,575		241,430	
3 土地再評価に係る繰延税金負債	13,097		13,097	
4 退職給付引当金	107,651		95,376	
5 役員退職慰労引当金	16,610		22,473	
6 長期未払金	25,303		32,783	
固定負債合計	567,495	4.4	573,667	3.9
負債合計	3,918,322	30.4	5,440,327	37.2
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	891,385	6.9	891,385	6.1
2 資本剰余金	904,907	7.1	904,907	6.2
3 利益剰余金	7,872,234	61.2	8,127,912	55.6
4 自己株式	△126,904	△1.0	△126,904	△0.9
株主資本合計	9,541,622	74.2	9,797,300	67.0
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券評価差額金	△113,544	△0.9	△168,466	△1.2
2 土地再評価差額金	△437,380	△3.4	△437,380	△3.0
3 為替換算調整勘定	△37,363	△0.3	△4,481	△0.0
評価・換算差額等合計	△588,287	△4.6	△610,328	△4.2
III 新株予約権	136	0.0	136	0.0
IV 少数株主持分	—	—	—	—
純資産合計	8,953,470	69.6	9,187,107	62.8
負債純資産合計	12,871,793	100.0	14,627,435	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
I 売上高		2,107,698	100.0
II 売上原価		1,181,291	56.0
売上総利益		926,406	44.0
III 販売費及び一般管理費		1,196,078	56.8
営業損失		△269,671	△12.8
IV 営業外収益			
1 受取利息	8,113		
2 受取配当金	4,227		
3 為替差益	35,567		
4 その他	6,086	53,995	2.6
V 営業外費用			
1 支払利息	6,619	6,619	0.3
経常損失		△222,296	△10.5
VI 特別利益			
1 投資有価証券売却益	27,225		
2 貸倒引当金戻入益	11,419	38,644	1.8
VII 特別損失			
1 固定資産除却損	38		
2 投資有価証券評価損	232		
3 投資有価証券売却損	10,365	10,637	0.5
税金等調整前四半期純損失		△194,288	△9.2
法人税、住民税及び事業税	3,470		
法人税等調整額	△100,365	△96,894	△4.6
四半期純損失		△97,394	△4.6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	2,294,765
II 売上原価	1,389,739
売上総利益	905,026
III 販売費及び一般管理費	818,302
営業利益	86,724
IV 営業外収益	64,156
V 営業外費用	14,937
経常利益	135,943
VI 特別利益	3,073
VII 特別損失	83,851
税金等調整前四半期純利益	55,166
税金費用	△61,575
四半期純利益	116,742